

ひょうごフィールドパビリオン
検討コアメンバー会議

令和4年12月27日(火) 14:00~16:00

【出席者】

(会議メンバー)

※五十音順

氏名	所属・役職
(座長) 石川 路子	甲南大学地域連携センター所長・経済学部教授
小田垣 栄司	(株)ノヴィータ代表取締役会長
田林 信哉	ローカル・コーディネーター
平 櫛 武	キタイ設計(株)事業開発本部グループリーダー
古田 菜穂子	(公社)ひょうご観光本部ツーリズムプロデューサー

※小田垣委員は欠席

(アドバイザー)

氏名	所属・役職
橋爪 紳也	大阪公立大学研究推進機構特別教授

(兵庫県)

氏名	所属・役職
齋藤 元彦	知事
梶本 修子	企画部長
川井 史彦	企画部万博推進室長
三宅 隆之	企画部万博推進室万博推進課長
能登 栄治	企画部万博推進室万博推進課副課長兼万博調整班長

【本日の論点】

- 1 SDGs体験型地域プログラムの応募状況について
- 2 認定基準について
- 3 審査の流れ

1 SDGs体験型地域プログラムの応募状況について

1 ひょうごフィールドパビリオンの展開

趣意

- 兵庫では、歴史も風土も異なる個性豊かな五国において、地域の人々が主体的に課題解決に取り組み、未来を切り拓いてきた。「震災からの創造的復興」、「人と環境にやさしい循環型農業」、「豊饒な大地や海に育まれた食材」、「挑戦を繰り返してきた地場産業」、「郷土の自然と暮らしの中で受け継がれてきた芸術文化」など、**地域を豊かにする取り組みには、世界が持続可能な発展を遂げていくための多くのヒントが秘められている。**
- 兵庫の各地域の **「活動の現場そのもの（フィールド）」** を **地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」** を全県で展開する。
- 交流を生み出す取り組みを通じて、兵庫各地域に住まう人々が、自らの取り組みを再評価し、次代を担う人材を育み、兵庫で暮らすこと、生きることの誇りへとつなげ、「**躍動する兵庫**」を切り拓いていく。

テーマ

Our Field , Our SDGs  私たちのフィールド、私たちのSDGs

I ひょうごフィールドパビリオンの展開

これまでの応募促進活動

○知事による応募促進活動

ワーケーション知事室(今年度3回実施)などでの各訪問先や、関係団体等での講演などで、ひょうごフィールドパビリオンを積極的にPR

○事務局による応募促進活動

- ・地域説明会 県内10カ所で開催(7月)
- ・現地訪問・意見交換会(4月より随時実施、延べ170件以上)

強化募集期間の応募状況

申請件数
111件

※R4.12.16時点

地域別件数

地域	件数
摂津	28
播磨	47
但馬	11
丹波	16
淡路	9

分野別件数

分野	件数
震災復興	4
自然・環境	27
農林水産	13
食	12
経済・地場産業	30
文化・芸術	25

I ひょうごフィールドパビリオンの展開

応募コンテンツの例示

内容
震災からの創造的復興へのチャレンジ
獣害対策のための狩猟された野生鳥獣のジビエをまるごと有効活用
世界の食料不足に挑む、昆虫食によるタンパク循環システム構築への挑戦
合鴨農法による捨てるところのない自然循環型の農業
神戸ビーフの源、但馬牛の歴史とルーツを維持する取組
日本一の酒米「山田錦」の特徴と品質確保に向けた取組
日本一の清酒生産現場でのこだわりある日本酒づくり
伝統文化のなかで育まれた醤油づくり
先染めで自然豊かな風合いを実現する播州織のオープンファクトリー
地元の土から産まれて、土に還る、淡路瓦のオープンファクトリー
農村集落の古民家がつなぐ、大企業と里山のコラボレーション
本鍛造・手打ちにこだわる職人から習う包丁づくり
環境に優しいE-Bikeで駆け抜ける近代産業遺産巡り

※認定するものを選定している訳ではありません。



▲但馬牛



▲山田錦



▲播州織



▲淡路瓦

今後の流れ

県のアクション

認定プログラムを「ひょうごフィールドパビリオン」として展開してくために、万博前、万博後の2段階で取り組み、万博後のレガシーへと導く

万博前	誘客プログラムの魅力向上をサポート	国内外にプロモーション	国内行事で利用促進 プレッサー等で活用
万博中	大阪・関西万博 兵庫棟（仮称）で情報発信	県立美術館ギャラリー棟等で 情報発信	県内各地域のコンテンツを 積極的に情報発信

スケジュール

項目	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
コンテンツ造成・ブラッシュアップ	募 説 集 明 強化募集期間 認定	※強化期間終了後も随時募集	ブラッシュアップ	万博 来訪者の受け入れ
プロモーション	開 会 始	販促資材等作成	海外トップセールス等 国内外プロモーション活動の展開	開 幕 兵庫棟(仮称)、 ギャラリー棟等 での情報発信

兵庫県における大阪・関西万博への対応

国内外から約2,820万人が訪れ、世界の注目を集める大阪・関西万博は、兵庫に人・モノ・投資を呼び込む絶好の機会。

- ◆ 地域の「SDGsを体現する活動の現場そのもの(フィールド)」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「**ひょうごフィールドパビリオン**」を展開
- ◆ 万博会場「**兵庫棟(仮称)**」、県立美術館「**ギャラリー棟**」を出展し、「ひょうごフィールドパビリオン」の魅力や県内企業等の取り組みを、展示やシンクロイベントを通して世界に発信

関西広域連合パビリオン「兵庫棟」

- 関西広域連合パビリオンに参画し、関西一体で魅力を発信
- 県独自の展示スペース「**兵庫棟(仮称)**」を出展し、来場者が兵庫へ向かうきっかけを創出
- 仮想体験や現地とのリアルタイム交流等を通じ、フィールドパビリオンの情報発信
- グルメ、癒やし、絶景等、兵庫五国の魅力を発信



万博会場から五国各地のフィールドパビリオンへの人の流れの創出

国内外プロモーションの展開

アクセス利便性の向上
五国周遊促進策の検討

ひょうごフィールドパビリオン

- 兵庫県全体をパビリオンに見立て、兵庫ならではのSDGsの取組を「見て、学び、体験」していただく

[兵庫が取り組んできたテーマ例] × SDGs
震災復興 / 地場産業 / 農林水産業
健康と食 / 芸術文化 / まちづくり



県立美術館「ギャラリー棟」

- 兵庫県各地域へのゲートウェイ
- 県内の情報発信・集客・周遊拠点
- 県民の参画、県内企業のSDGsに関連した企画展など

全県推進組織の設置

- 万博開催に向けた県実施事業の情報共有、機運醸成事業の実施のための、市町や関係団体等が参画する全県推進組織を設置